

黒田庄まちづくり協議会より

第144号5月

一年を振り返って

黒田庄地区では、平成28年度に黒田庄地区まちづくり計画を改定し、まちづくりのための目標を“千年の風土を未来につなげるNEW黒田庄づくり”とし、その目標づくりのために、西脇市条例に基づく地域自治協議会となる「黒田庄まちづくり協議会」を昨年5月24日に設立しました。

この協議会は、公共的団体として、これまで以上に参画する団体・人々が話し合い、自主的・主体的に計画を実践すると共に、様々な課題解決を目指し、各事業部会や協議会全体で事業に取り組みました。

にしわき市・黒田庄夏まつり、黒田庄軽トラ市、あつまっ亭朝市、福祉送迎車の運行、黒田庄つうしん発行など、従来からの継続事業に加え、新規事業にも取り組みました。

新規事業では、自治会単位の交流カフェとして、喜多自治会の「住民カフェ“喜多っ亭”」、津万井自治会の「津万井カフェ」、小苗自治会の「小苗夢カフェ」がスタートしました。高齢者等の健康づくりでは、インドヨガ教室を毎週木曜日の午後7時30分から黒っこプラザ大ホールで開催しています。ヨガは心身の緊張をほぐし、心の安定と安らぎが得られ、健康と美容に効果があるとして女性に人気で、毎回約40名の方が受講され、時々笑い声もあり、楽しそうにされていました。



インドヨガ教室 受講風景

観光レクリエーションゾーンづくりでは、平成11年に整備された「水と緑の郷秋谷」には、1周2.7kmの遊歩道があり、そのうち庵谷池の東側の湿地帯に長さ約30mの木橋が架かっていましたが、老朽化による腐食で危険な状態になっていましたので、老朽化した木橋を解体し、新しい木橋を設置しました。

また、リーダーの育成では、まちづくりリーダー育成講習会とまちづくりワークショップを開催し、まちづくりについて話し合いをしました。この中で「まちづくり」とは、地域の困り事を長期にわたる自分たちの取り組みで解決しようとする活動であることを学びました。

黒田庄まちづくり協議会総会の開催告知

来る5月29日(火)午後7時30分より黒っこプラザにおいて、黒田庄まちづくり協議会の総会を開催します。

内容は、平成29年度事業報告並びに会計決算報告、役員を選出、組織等、平成30年度事業計画並びに会計予算などについて審議します。

協議会委員のみなさんの多数の参加をお願いします。



編集・発行
黒田庄まちづくり協議会
西脇市黒田庄町前坂2140番地
TEL 28-2121
平成30年5月15日発行



黒田庄地区の人口
(H30.5.1現在)
男 3,314
女 3,538
計 6,852
世帯数 2,632
人口前月比 (-23)

町ぐるみ健診(集団健診)がはじまります！

日程	託児	場所	受付時間
5月23日(水)		黒っこプラザ	午前8時30分
5月24日(木)			～
5月25日(金)	○		午前11時



※託児・・・市役所健康課へ事前申し込みが必要です。

上の表の日程で町ぐるみ健診が実施されます。受診には事前申し込みが必要となります。

★申込方法

①郵送またはFAX(ファックス)

にしわき広報3月号と同時配付された「町ぐるみ健診のお知らせ」にある申込書に記入の上、郵送またはFAX(FAX22-5219)

②電話 西脇市役所 健康課 (市役所22-3111内線355)

③ホームページの町ぐるみ健診のページから申込みする。

自分のため、家族の健康管理のために、年に一回は健診を受けましょう！

個別検診

対象の方は5月から指定の医療機関で助成を受け、個別(子宮がん・乳がん・大腸がん)検診を受診できます。受診には受診券が必要です。

★対象の方へ検診の無料クーポンが5月中旬に送付されます。

詳細については、「にしわき広報4月号」に記載されていますので、ご覧ください。



黒田庄地区人権のまちづくり協議会 ★第1回推進委員会 開催★

4月27日(金)19時30分より、推進委員会を行いました。5月18日(金)開催の定期総会の議案の審議を行い、終了後、人権教育課大東太郎指導員を講師に以下のような研修を行いました。活発な討議により、有意義な研修会となりました。

研修内容

「身近に感じる人権教育！～みんなで楽しく学びましょう～」

<講師> 西脇市教育委員会人権教育課 大東太郎指導員

3つのグループに分かれ(写真参照)、黒田庄の自慢(良いところ)や課題(こんな町にしたいなあ)について、人権の視点と関連づけながら、話し合いを行いました。参加者より、以下のような意見ができました。

- ・学校より「温かい人たちに見守られて子どもたちは学んでいます。」
- ・地域より「自然豊かで仲間意識が強く安心して暮らせています。」
- ・本日の学びから「自分の気持ちを話せてよかった。」「楽しかった。」

最後に、大東指導員より、「まちづくりは、楽しく、つながることが大切ですね。」というお話がありました。

(文責 宮崎正則)

※定期総会(黒っこプラザにて)
5月18日(金)19時30分～
総会行事と研修会DVD鑑賞等



3つのグループに分かれて意見交換後の各グループ発表風景



虹の会 工房だより

就労継続支援B型事業所
(虹の会工房)
生活介護事業所(げんき)

大相撲舞鶴場所の土俵上で挨拶をしていた市長が倒れ、女性が救命のため土俵に上がった事が市長の命を救ったことより話題になりました。私たちは突然事故に遭遇すると、「救命なんてとても…」と尻込みしてしまうかもしれません。そこで、私たちにもできることを1つでも身に付けてようと4月19日に西脇市の富原医院の院長先生に指導して頂いて命の大切さを考える研修を行いました。『公共の場所等にAEDの設置が増加したことに伴い、一般の人によってAEDによる早期の救命処置が行われ、心肺停止患者の救命者数が増加している。』(消防庁)と報告されています。職場で、家庭で、スーパー等々、いつ何処で命に係わる事に遭遇するかもしれません。土俵に上がった女性のように瞬時に命を考え行動できるようになりたいものです。



母の日のプレゼントを切り絵で作りました。



「やらないよりはやった方がまし」くらいの気持ちで始めましたが、熱心なご指導により、練習を重ねる毎に命に立ち向かうことの大切さを痛感しました。

大好きなカラオケをしました。専門店ではなく、工房の小さな部屋でしたが各自の持ち歌で盛り上がりました。



賛助会員へのご協力をお願い致します

NPO法人虹の会工房(多機能型事業所)には、地域の皆様のご支援ご協力により、5月1日現在17名が通所しています。(就労継続支援B型事業6名、生活介護事業11名)私たち職員一同は本年度も障がい者が積極的に社会に参画し、自立・共生・安心できる社会福祉の増進に貢献して行く所存です。つきましては、NPO法人虹の会工房賛助会員へのご加入にご賛同いただきますようお願い申し上げます。

尚、ご賛同いただける方は、お手数ですが下記までご連絡くださいますようお願い致します。

虹の会工房 電話 28-5128 FAX 28-5141

切り取り線

1口 ¥1,000円

お名前(ふりがな)	〒 (ご住所)	口数	電話番号

黒田庄の巨木シリーズ(8) 喜多 藤本家のカヤ

農協の裏に回ると、藤本家のカヤの高木の目を奪われます。胸高幹周3.2mの巨木です。

藤本家では守り樹として祭られ、2年ごとに剪定をして、自然樹形とは違った独特の人工樹形(玉散らしづくり)を維持してこられました。以前は、よく実がなり農協に出荷されていたそうですが、最近の実のつきが良くないようです。カヤは、成長が極めて遅いが寿命は長く、この木の樹齢も約300年だそうです。

なお、カヤの木が植えられた頃の藤本家については、黒田庄町史281ページに藤本家保存の文書による記事があります。



*モミ、ツガ、カヤは葉の形状がよく似ていますが、葉先の違いで区別することができます。

モミは、葉先がくぼんで鋭く尖っています。ツガは、葉先がくぼんで丸まっています。カヤは、葉先が鋭く尖っていて、触れると痛いのです。

※写真は、喜多 藤本家のカヤ

平成30年度黒田庄地区老人クラブ総会開催

5月8日(火)に平成30年度黒田庄地区老人クラブ総会が黒っこプラザにて開催されました。

平成29年度事業報告及び会計決算報告、平成30年度事業計画案及び会計予算案等が審議されました。

本会は、会員相互の親睦を図るとともに、単位老人クラブの健全な発展のため、その指導育成と連絡にあたり、もって老人福祉の向上増進に寄与することを目的とされています。

老人クラブ総会風景→



編集後記

国道175号の畑瀬信号付近から東方向を見ると、遠くに山と大きな谷間が見えます。俗に門柳山と呼んでいます。麓には廃池となった門柳大池があり、堰堤東端の林道脇に道標が立っています。平安室町期には丹波より山越に比延へ越す山道があり、道標を作ったと伝承があります。現在この谷の大半は、県下でも有数の面積を持つ門柳保護会生産森林組合の管理下にあります。

また、サントリーホールディングスがこの土地の水源涵養機能の向上・間伐・間伐材の有効利用・作業道建設等・台風倒木の処理・新入社員の研修の場として使用されており、この谷の地下水が「サントリー高砂工場」まで流れるのを想像すると楽しい夢ですね。

T. H